

令和 6 年度 第 2 回 豊能町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和 6 年 12 月 17 日（火）午後 1 時 30 分から 2 時 27 分まで

会 場：豊能町役場本庁 2 階大会議室

出席者：委員 17 名、事務局 3 名

（詳細は別紙「令和 6 年度第 2 回会議出席者名簿」のとおり）

傍聴者：8 名

1. 開会

午後 1 時に開会した。

2. 《協議》AI オンデマンド交通の実証実験について

（1）表記の事項について事務局より説明があった。

（2）主な質疑・意見

〔委 員〕 車両を 3 台から 1 台に減らすのが積み残しはないか。

〔事務局〕 前回の実績から 1 台で足りると考えている。

〔委 員〕 アプリ側からプッシュ通知により広報はできるのか。

〔委 員〕 前回の実証実験の際にお知らせを配信できているので可能であると思う。

〔委 員〕 目的が年度により変わっているが、一つの事業目的が踏襲されるべきではないか。住民の移動手段確保の観点はあるのか。

〔委 員〕 技術の導入・利用から社会受容へ段階を踏んだ目的となっている。

〔事務局〕 昼間時間帯の運行で住民の移動手段確保の観点はある。

〔委 員〕 持続可能な収支モデルが構築されなければどうなるのか。

〔委 員〕 地域公共交通会議で今後どう進めるか議論することになり、実験であるので、この交通モードでは持続可能な収支モデルが難しいということもあり得ると考えている。

〔事務局〕 採算性だけではなく、住民のニーズ、利用者数、財政状況等総合的な判断をしたい。

〔委 員〕 継続するかどうか検証の期間はかなりかかるのか。

〔事務局〕 期間については現時点では未定である。

〔委 員〕 目的に対し結果がどうかしっかりと評価・検証をお願いしたい。

〔委 員〕 採算の問題はあると思うが、公共交通は自治体主体で確保するよう検討されたい。

〔委 員〕 法で自治体は公共交通の確保に努めることとあり、どこまでどのようにするかは各市町村の政策であると考える。

・以上、質疑応答の後、本事項にかかる異議の確認で、一同異議なしとなった。

3. 《協議》デマンドタクシーの運行改善について

(1) 表記の事項について事務局より説明があった。

(2) 主な質疑・意見

〔委 員〕 運賃は協議対象ではないのか。

〔委 員〕 道路運送法第 21 条による許可で運賃は協議事項ではない。

〔委 員〕 東地区デマンドタクシーは現行より改善されるが、毎時余野に到着しても、余野からのバスが昼間帯では 2 時間に 1 本で、乗り継げない。本数の多い森町線につないで欲しい。

〔事務局〕 ニーズは理解しているが、他の交通モードとの競合にも配慮し慎重に検討したい。

〔委 員〕 牧・寺田・切畑線と川尻・高山線が同時刻に予約があっても対応できるのか。

〔事務局〕 予約があれば 2 台で対応するが、1 日当たり 0.7 人と実績としてはない。

〔委 員〕 重複する予約もありえるが、運行改善でより対応しやすくなる。

・ 以上、質疑応答の後、本事項にかかる異議の確認で、一同異議なしとなった。

4. 《報告》令和 6 年度第 1 回運賃協議部会の協議結果について

(1) 表記の事項について事務局より説明があった。

(2) 主な質疑・意見

〔委 員〕 公募した意見に対して回答しているのか。

〔事務局〕 包括的に町の考え方を示している。

5. その他

・ 能勢電鉄株式会社選出委員より運賃改定・ダイヤ改正について説明があった。

6. 閉会

・ 午後 2 時 27 分に閉会した。